

第8回議会報告会での発表内容等（課題別）

（北区・東区・中央区・江南区・西区・西蒲区：
大学、農業大学校および高校の学生・生徒との意見交換
秋葉区・南区：青年会議所会員との意見交換

テーマ：「新潟市のまちづくりについて」

課題：①少子化対策、②人口流出、③今後の医療と介護のあり方、
④中心市街地の活性化、⑤地域産業の振興、⑥農業政策、
⑦雇用、⑧公共交通のあり方

①少子化対策

【北区1】

<仕事について>

- ・仕事と育児の両立が現状難しいと思われる。
- ・休日を確保したり、残業を減らしたりできる職場環境を整えてほしい。
- ・元気な高齢者に職場で活躍する機会を増やし、若者の負担を軽減してほしい。
- ・出産・子育てに金銭面でも不安があるため、企業と行政がお金を出し合い出産奨励金を出してもらいたい。

<出会いについて>

- ・独身男性が多いと聞く。
- ・新潟はデートスポットが少なく、出かける場所があまりなくて盛り上がらない。
- ・公園を整備したり、アウトレットモールを誘致してはどうか。

<育児について>

- ・保育士不足で子供を保育園に預けられないと聞く。
- ・保育士の処遇を改善し、保育士不足を解消してほしい。
- ・中高生に、校外学習や職場体験で保育園を訪問し現場の様子を見てもらい、育児についての認識を持ってもらってはどうか。
- ・母親同士が集まり情報交換できる場がたくさんあればいいと思う。

【北区2】

<背景>

- ・人口流出が進んでいる。特に高校、大学を卒業した若者が進学や就職で出ていく割合が高い。そのため地域の若者が減っていく。

<問題>

- ・若者にとって希望する職業が地元になく、首都圏へ出ていってしまう。
- ・低賃金のため、出産はおろか結婚もできないと若者は考える。

- ・子育てする環境も良いと言えず不安を覚える。

<対策>

- ・企業が託児所を設置して、働きやすい環境を整える。
- ・児童手当を充実させる。

【東区】

<問題>

- ・保育園問題 保育園の少なさ、待機児童の問題
- ・経済的問題 育児への経済的な負担への不安、余裕のなさ、賃金の安さ
- ・社会的問題 シングルマザーの貧困、結婚に対するネガティブ報道
- ・環境的問題 女性の負担が大きい、男女間格差

<解決策>

- ・ワークライフバランスの確立、企業内、院内保育の拡充
- ・シングルマザー、子育て支援の拡充、教育費の低減、助成
- ・出会いの場を増やす、結婚に対するイメージアップ
- ・産休制度の充実、有給休暇取得の奨励策

<意見>

- ・もっと育児を楽しんでいる親の意見の発信を。
- ・報道のマイナスイメージが大きいのではないか。
- ・子どもの食費に対する支援を拡大すべき。

【秋葉区】

<意見・要望>

- ・出会いの場だけではなく語り合う場、結婚を進めるコーディネーターが必要。
- ・子育てしやすい環境の整備
- ・(病院、教育など) 女性が在宅で働けるようにテレワークの推進
- ・働くお母さんへの支援はあるが、子育て中の専業主婦へも支援が必要。
- ・教育資金の補助の充実。
- ・結婚による特典がつくような取り組み。

【南区】

<問題>

- ・共稼ぎが多いのに、病児保育が南区にはなく、親が仕事を休まざるを得ないことが多い。
- ・保育料が高い(特に未満児)。
- ・長期育休がとりにくい。
- ・金銭面、収入面、教育費などで将来への不安がある。晩婚化の影響も大きい。

- ・ 保育園探しが大変。保育士さんの収入が少ないため保育士の数が不足している。

<対策>

- ・ 病児保育を各区に設けてほしい。
- ・ 保育料の負担軽減（特に1人目）
- ・ 育休後、社会復帰しやすい環境整備を。
- ・ 育休制度の拡充
- ・ 児童手当の増額
- ・ 給付型奨学金制度の拡充（長期的に高校、大学まで）

【西区】

<現状・課題>

- ・ 少子化対策として、市民に寄り添った政策がない。

<意見>

- ・ 市外から新潟市へ移住をしてもらう政策が必要。
- ・ 市民により分かりやすく、政策や取り組みの「見える化」が必要。

②人口流出

【北区1】

<出ていく理由>

- ・若者が求める仕事が少ない。
- ・若者にやさしくなくて住みづらい。
- ・バス等交通の便が悪い。
- ・都会へのあこがれがある。
- ・都会に勝るイベントがない。
- ・観光地が少ない。
- ・雪や風など冬場の天候が厳しい。

<とどめる対策>

- ・食材が豊富で食べ物がおいしい。
- ・地元で働くメリットがあれば。
- ・交通の拠点を整備する。
- ・地元愛を醸成する。
- ・アウトレットを誘致する。

<結論>

- ・若者のニーズに合った就職先が少ないという現状がある。
- ・中央区だけでなく他の区も活性化してほしい。

【北区2】

<問題>

- ・若者が減っている。若者が遊ぶ場所が少ない。
- ・交通の便が悪い。
- ・雪が多くて大変である。
- ・市内に大学が少ないと感じる。
- ・若者が就職希望する企業が少ない。

<要望・意見>

(若者が減っているなどについて)

- ・アウトレットを誘致。
- ・イベントを大規模に開催する（ラーメン博、肉フェス、潟コン等）。
- ・動物園をつくる。

(交通の便が悪いについて)

- ・新しい道路をつくる。
- ・路面電車を走らせる。

(雪が多くて大変であるについて)

- ・ 消雪パイプを整備する。

(市内に大学が少ないと感じるについて)

- ・ 公立（市立）大学を設立する。
- ・ 新潟ならではの奨学金を出す。

(若者が就職希望する企業が少ないについて)

- ・ もっと企業の存在をPRする。

【東区】

<問題>

- ・ 本市には特にこれというものがない。
- ・ 働きたいと思える職場、魅力的な職場が少ない。
- ・ 交通の不便さからくる住みにくさ

<要望・意見>

- ・ 魅力ある大学が少ない。
- ・ 働きやすい環境づくり
- ・ 地元企業のアピールの集約、発信
- ・ 総合大学、外国語大学の招致
- ・ 若者に魅力ある街づくりを考えていないのではないか。
- ・ 中小企業の魅力をもっと発信すべき。
- ・ 中国とロシアとの交流をもっと頑張るべき。
- ・ 人口が減ったらどうなるのかという発信をもっと行うべき。

【江南区】

課題：人口流出

大学への取り組み

<現状>

- ・ 全国レベルと唯一呼べる大学が新潟大学しかない。

<要望・意見>

- ・ 新潟市内の大学に他大学との差別化が図れるような設備を整える。
- ・ 教員のレベルを上げ、授業の質を上げる。
- ・ 大学の知名度とレベルを上げ、県外からの受験者数を増やす。

企業への取り組み

<現状>

- ・ 大学で学んだことを地元で生かせない。

<要望・意見>

- ・ 大企業を誘致することにより、地元の大学を出た方が新潟に就職できる環境をつくる。
- ・ 起業しやすい制度を整え、その環境を全国に広報することにより、起業したい若者を取り込む。

出産・育児への取り組み

<現状>

- ・ 新潟で結婚する若者が少なく、出生率を押し下げている。

<要望・意見>

- ・ 共働きしやすい環境を新潟市が整え、将来を支える人材を確保する。これにより、生産年齢人口の増大を目指す。

高齢化問題について

<現状>

- ・ 東京などに出ていった若者の親世代が介護を必要とするようになった段階で、子どもが東京などに親を呼ぶことによって新潟の空き家が増えてしまう現状がある。

<要望・意見>

- ・ 若者を市内にとどまらせておくことが重要。
- ・ 安心して親世代が新潟市内で老後を送れる環境を整えることが必要。

上記の取り組みを組み合わせ、連携させることによって負のサイクルを止め、人口減少を増加へと変えていくことができる。

【西区】

<現状・課題>

- ・ 大学卒業後、出身地（県外）へ戻る。県外で就職する。
- ・ 地場にも企業はあるが、PRが不足。
- ・ 新潟市の魅力を知る機会が少ない。
- ・ 交通の便が少なく出かけにくい。

<意見・提案>

- ・ 「酒の陣」の他にも菓子や米などをPRするイベントの連続的な開催が必要。

- ・市民生活に密着した施策が必要。
- ・教育の場（学校の授業など）で新潟市の魅力を発見する機会を設ける。
- ・交通の利便性を高める。

③今後の医療と介護のあり方

【東区】

- ・定期的な運動、食育の重要性、ストレスの解消が大切である。
- ・「地域とのつながり」の大切さ
- ・老人ホームの拡充
- ・交流イベントを増やす。
- ・公共交通の充実
- ・世代間交流の場を増やす。
- ・ボランティア活動の充実
- ・公園の設置
- ・運動、歩くことへの啓発、環境づくり
- ・習慣改善への啓発活動が重要。

【江南区】

介護について

<問題点>

- ・介護施設が足りない。
- ・特別養護老人ホームは増加しているが、必要としている人はまだたくさんいる。

<改善案>

(介護施設について)

- ・在宅医療をさらに充実させる。新潟市の中で担当を決めて細かい範囲ごとに対応する。
- ・福祉施設にお金をかけすぎている印象を受けるので、廃校になった学校や使わなくなった公共施設などをもっと活用すべきではないか。

(特別養護老人ホームについて)

- ・特別養護老人ホームについては施設を増やすのではなく、人材を確保すべき。
- ・介護士の賃金を増やすために補助金を出し、魅力をアップさせ、県外から人材を呼び込むべき。

医療について

<問題点>

- ・医療に関する問題の対策はその都度とられ、情報開示もされているが必要な方に十分に届いていない。
- ・新潟の医師不足

<改善案>

(情報開示について)

- ・制度の名前をもっと簡単にし、見ただけでどのような制度かわかるようにすべき。
- ・各家庭にパンフレットを配るなど情報開示を推進すべき。
- ・テレビやラジオ、ネット広告をさらに活用すべき。

(医師不足について)

- ・小学校のうちから新潟についてさらに学びをさせ、新潟の地域愛をはぐくんでおく。
- ・新潟大学医学部の地域枠をさらに広げ、また、条件を加えることにより、医師が首都圏や市街地に集中することを防ぐ。
(例) 高齢者がいる地域に何年かは赴任しなければならない制度や若いうちに1回は農村部に勤務する制度など。

④中心市街地の活性化

【東区】

- ・ 駐車場をもっと増やすべき。
- ・ 特色ある商店街への再建が必要。
- ・ ローカルニュースの発信が少ない。
- ・ 郊外店の規制をもっと高めるべき。
- ・ シャッター街への若者の起業促進
- ・ 大型ショッピングセンターとの連携策を考える。
- ・ イベントを増やすべき。
- ・ 朱鷺メッセの有効活用策をもっと考えるべき。
- ・ 「古町の日」の創設

【中央区】

課題：中心市街地の活性化

<現状>

- ・ 店に入りづらい。
- ・ 店の人が奥にいて話しかけづらい。
- ・ 店に何が売っているかわからない。
- ・ どんな店かわかりづらい。
- ・ 看板がわかりづらい。
- ・ 店の人が高齢で話しかけづらい。
- ・ 店主は、地域における唯一の商店街だと自負している。
- ・ 店の人は、地域に誇りをもっている。
- ・ 若者が商店街の良さを知らない。
- ・ 店主と話してみると、店主とのコミュニケーションを楽しめた。
- ・ 店主は、商品に関する知識が豊富で、商品に関する自慢話を聞いた。
- ・ 出張等で新潟を訪れるビジネス客が購買活動を行わず帰ってしまう。
- ・ 市外の人が新潟の土産を選ぶとき、何がいいかわからない。
- ・ 観光に関する情報が少ない。
- ・ 新潟を訪れる人が、出張等の空き時間に寄れるような場所がわからない。

<改善案>

- ・ 若者に商店街の存在を知ってもらう。
- ・ 若者がボランティアで商店街や高齢者を手伝う。
- ・ 若者が商店街で買い物ができるようにPRする。
- ・ 各区の商店街で、魅力ある商品を開発したり、地域の特徴を出すなどして商店街を活性化する。
- ・ 「ついで観光」という切り口でアプリ等を活用し、待ち時間をいかに楽しんでも

らうかを情報提供する。

- ・おすすめの新潟の土産をPRする。
- ・観光に関する情報をアプリ等を活用して、提供する。
- ・出張等の空き時間に寄れるような場所を情報提供する。

【南区1】

<現状>

- ・空き家が多い。
- ・商店が稼働していない。
- ・商店街が寂しい。高齢化、老朽化が進んでいる。
- ・コインパーキング等の駐車場が少ない。

<理想像>

- ・若い人、子どもから年配の方まで、多種多様な人が来る街
- ・儲かるような新しいカタチをつくる。
- ・バスターミナルの設置
- ・巻潟東～新津間の高速道路を敷設し、白根インターチェンジをつくってほしい。
- ・電車の路線を復活してほしい。
- ・子どもが遊べる場所の設置

<対策>

- ・商店街が高齢者の見守りもできるような取り組みを。
- ・若い人が入れるような魅力的な店舗を増やす。
- ・空き家、街並みをキレイにする。
- ・チャレンジショップの誘致
- ・商店街との連携を強め、飲み屋街を元気に！
- ・動物園をつくる。

【南区2】

<問題点・現状>

(公共交通の不便さ)

- ・電車がない。
- ・バスの最終便が早い。

(商店街に魅力がない)

- ・駐車場が少ない。
- ・子どもを連れていける場所が少ない。
- ・欲しい物がない。
- ・遊べるところがない。

<こんな街にしたい>

- ・白根駅等の中心地をつくる。
- ・スーパー銭湯やアミューズメント施設を。
- ・大型駐車場をつくる。
- ・大型店の誘致
- ・思いきって、楽器店などの連なる街をつくってみる（高校生が言っていた。）。
- ・（神田の古本屋、御茶ノ水の楽器店などのように）同一店舗を並べてみる。

【西区】

<現状・課題>

- ・商店街にどのような商店があるのか分からない（発信力不足）。
- ・ゆっくりできる場が少ない。

<意見・提案>

- ・商店街に人を呼び込むため、例えば、スタンプラリーやポイント制などを導入したり、100円バスやレンタルサイクルなどの導入も必要。

⑤地域産業の振興

【東区】

<問題>

- ・魅力のある産業、企業が少ない。
- ・魅力のある産業、企業のアピールが足りない。

<要望・意見>

- ・「雪」をもっと有効活用できないか。
- ・SNSを活用して産業をアピールすべき。
- ・もっと北陸全体で連携はできないのか。
- ・交通弱者へのサポートが必要ではないか。
- ・起業に対するサポートをもっと行うべき。
- ・ブランド化に向けた工夫が足りないのではないか。

【秋葉区】

<意見・要望>

- ・生産力はあるが販売力に乏しいため、行政の後押しで農産物の販路拡大を（友好都市などへの輸出など）。
- ・後継者の確保に向けての取り組み。
- ・JAに依存しない農業組織体の構築が必要。
- ・農家レストランの建設などで商店街の活性化を。
- ・FM新津の有効活用。

【西区】

<現状・課題>

- ・地場にも企業はあるがPRが不足。

<意見・提案>

- ・「酒の陣」の他にも菓子や米などをPRするイベントの連続的な開催が必要。

⑥農業政策

【東区】

<問題>

- ・ コメ以外の産物はないのか。
- ・ (農産物の) アピール不足なのではないか。

<要望・意見>

- ・ 兼業農家を中心に考えた農業施策を。
- ・ 「雪」をもっと有効活用できないか。
- ・ SNSを活用して産業をアピールすべき。
- ・ もっと北陸全体で連携はできないのか。
- ・ ブランド化に向けた工夫が足りないのではないか。

【西蒲区】

<現状と課題>

- ・ 担い手の減少及び高齢化
- ・ 耕作放棄地の増加
- ・ 嫁が来ない。
- ・ 農家のイメージが暗い。
- ・ 米に頼り切っている。
- ・ 米価の下落
- ・ 農産品の認知不足
- ・ 収入が不安定。
- ・ 農業法人が少ない。

<課題解決に向けた意見>

- ・ 安心して子育てできる環境づくりに取り組む。
- ・ 若者が農業に興味を持つ機会を創出して欲しい。
- ・ ほ場全体の情報をデータ化するなどIT化を推進する。
- ・ 米粉製品の拡大を図ってほしい。
- ・ 6次産業化の推進、補助を行ってほしい。
- ・ 海外への輸出を促進するための取り組み（ニーズ調査、販路拡大、ネット等）を行ってほしい。
- ・ 芸能人やゆるキャラを起用して、農業のイメージをアップさせる。

⑦雇用

【東区】

<問題>

- ・新卒の定着率低下
- ・学歴、男女間格差
- ・休暇がとりづらい。
- ・賃金が安い。
- ・ブラック企業の存在
- ・観光産業の魅力がない
- ・農業への就職のしづらさ
- ・ベンチャーなど起業が難しい。

<要望・意見>

- ・魅力ある企業の誘致
- ・商店街の発展、再編に対する助成
- ・U I J ターン就職に対する助成
- ・観光産業をもっと伸ばす施策を。
- ・103万円の壁の問題解決

【江南区】

<企業側の視点>

- ・企業は求人募集だけではなく、優秀な人材を集めるために自らアクションを起こすべきである。優秀な人材を集めることによって、企業の業績をアップさせ、企業規模を拡大し、更なる雇用の拡大を目指す。
- ・行政主催で企業の魅力をアピールできるイベントの開催を行う。
- ・新潟市の得意としない「アピール広報」について見直すべき。
- ・大企業が増えたり、グローバル化したりすることによって中小企業にも良い影響が出て、雇用の拡大につながると思うので、大企業の誘致を積極的に行う。
- ・企業の一覧が学生でも簡単にアクセスできるよう中小企業のネットワークを行政主導でつくるべき。
- ・企業の誘致について税金の免除など様々な施策を実施すべき。

<労働者側の視点>

- ・初任給で都市部の企業に見劣りしないよう、足りない部分を新潟市が負担すべき。
- ・契約社員ではなく正規の労働者として短時間雇用を実現してほしい。子育て中の方などに10時から3時までの勤務とするなど、短時間ではあるが契約が切れずに継続して働ける環境を整えてほしい。
- ・育休を取得し、その後企業に復帰するときには企業側にも労働者側にも負担が

- かかる。育休取得後、仕事に復帰する際に企業側に補助金を支給してはどうか。
- ・ 正規と非正規の給料格差の是正をすべき。
 - ・ 20～35歳までの方が県外から移住してきた場合には補助金を支給する。

【秋葉区】

<意見・要望>

- ・ 大型店の進出でダメージは大きく、個人（経営者）単位では対応が難しいため、地域行政の保障や税などの対策が必要。
- ・ 人口増も大きな課題。
- ・ 離農する人が年々増えているので、受け持つ土地が多くなり雇用主として大変である。
- ・ 農機具の整備・修繕にかかる経費が高い。また、価格が決まっているので利益が上がりず従業員の給料などに還元できない。
- ・ 職場の環境整備、福利厚生の実を望む。

【西区】

<現状・課題>

- ・ 市内の中小企業に魅力がなく、知る機会も少ない。就職に向かない。
- ・ 新潟市の魅力を知る機会が少ない。

<意見・提案>

- ・ 市民により分かりやすく、政策や取り組みの「見える化」が必要。

⑧公共交通のあり方

【北区 1】

<現状>

- ・交通の空白地域がある。
- ・高齢者の移動手段がない。
- ・BRTでの乗り換えが不便である。
- ・バス路線は、病院行きは多いが他は少ない。

<対策>

- ・デマンド交通で対応する。
- ・訪問移動販売などで買い物ができるようにする。
- ・朝の電車の車両数を増やす。
- ・区バスの改善をはかる。

【北区 2】

<現状の問題点（不満）>

- ・料金が低い。
- ・本数が少ない。
- ・終電、終バスが早い。
- ・バイパスで事故が多い。
- ・行き先がわかりにくい。

<利用促進の提案>

（高齢者向け）

- ・料金を均一にする。
- ・病院行きのマイクロバスを走らせる。

（若者向け）

- ・レンタカーも活用する。
- ・アウトレットを誘致し、公共交通の利用客を増やす。

【東区】

<問題>

- ・電車・バスの本数の少なさ、不便さ、運賃の高さ
- ・自転車専用道路の少なさ
- ・放置自転車の問題
- ・ICカードをチャージする場所が少ない。
- ・信号が多すぎる。

<要望・提言>

- ・ 駅周辺の活性化、大型駐輪場の設置
- ・ 終バスの延長や一律バス料金の設定
- ・ 新潟交通以外のバス会社も走らせるべき。
- ・ スマホアプリの利用をもっと上手に。

【南区1】

<課題・現状の認識>

- ・ 南区はバス交通のみ（軌道系がない。）
- ・ 料金が低い。
- ・ バス交通のあり方
- ・ バスの停留所が少ない。
- ・ バス停まで遠い。
- ・ 待合所がない（雨、雪キビシイ）。
- ・ 自転車置き場がない。
- ・ 唯一の高校へのバスのアクセスが悪い。
- ・ 魅力が少ない。街の魅力向上にアピール。
- ・ 集落が点在している。
- ・ 民間事業者と区バスの連携は？デマンドタクシー
- ・ 卵が先か鶏が先か。
- ・ 街づくり全体のイメージは？それに合わせた交通体系？
- ・ 南区と中央区までの連結しかない。
- ・ ルートが適切か。
- ・ 目的に合った使い方
- ・ 新潟からの終バスの時間が早い。
- ・ バスの本数が少ない。利便性
- ・ 自家用車中心になっている。
- ・ バスは定時性がない。
- ・ 渋滞する。
- ・ 時間がかかる。

<対策>

- ・ 川側（信濃川、中之口川）に集落があり、内陸部の交通の充実が必要。
- ・ 川を使用した交通
- ・ バス料金を安くして乗りやすくする。
- ・ 定時性を確保した、基幹となるバス路線を整備する（鉄道にかわるもの）。
- ・ 民間企業との連携によるバス停の整備（コンビニ待合になる施設とバス停を結びつける。）
- ・ 快適な待合所の設置
- ・ 市民のボランティア

- ・燕三条との連携や秋葉区、西蒲区など周辺市区との連携が地域を伸ばすものになり、そのための公共交通網を整備する。

<中核都市へ>

南区の地勢的な立地を活かすことにより、地域のポテンシャルを上げることができるといえる。また、人の動きは、行政界を越えたものが多く、市域を越えた交通戦略も必要。燕三条方面への延伸や西蒲区、秋葉区方面への連携を強化することが重要。その際に、まちの核となる拠点を交通、行政、医療、福祉、教育等サービスを集め形成したまちづくりが求められる。

【南区2】

<現状の課題>

- ・便が悪い、電車ない、高速ない。
- ・冬に雪で渋滞する。
- ・中央区から南区の直行便がない。
- ・バスの乗り継ぎが不便
- ・バスに乗ったことがない。
- ・鉄道等の公共交通がないイメージ
- ・車に頼っている。→大人が公共交通を使わない。

<課題解決のために>

- ・人口を増やす。
- ・バスを使うことを区や会社で決める。
- ・保育料を無料にする。
- ・農業を通して魅力を持つ、人口を増やす、交通が良くなる。
- ・区バスの利用方法を考える。→利用、人口を増やす。

<目標>

- ・8号線の4車線化
- ・電車が欲しい。
- ・定時性を守った交通網の構築
- ・目的別でバスを利用するようにする。
- ・パークアンドライドの本格的なものの整備
- ・一番早い道でバスの直通便をつくる。

【西区】

<現状・課題>

- ・運転するとき、分かりづらいので、バス専用レーン設置が必要。
- ・バスを利用すると、バス停内の案内（図）が分かりにくい。

<意見>

- ・バス停内に地図で乗り継ぎ表示したものを設置してほしい。